

## 2019 年別科花壇での栽培について

別科花壇では春先にはクロッカス、チューリップ、ヒヤシンス、スイセンなどが咲いていましたが、その後、スギナ、タンポポ、ジシバリ、シバムギなどの多年生の雑草が繁茂してきたので、6月14日（金）と6月15日（土）に全ての球根を掘り出すとともに、雑草も根ごと掘り出して除草しました。

秋にはこれらの掘り出した球根を再び花壇に植え戻す予定ですが、それまでの間、ソバとヘアリーベッチの混播栽培を試すことにしました。

ヘアリーベッチはマメ科の緑肥で、栽培することにより地力を高める効果があります。ソバは吸肥力が強く、生育が早く、草丈が高いためヘアリーベッチと競合しにくいことが期待できます。また収穫残渣を緑肥に利用できるという効果もあります。また地表面を緑肥とソバで覆って雑草の繁茂を防ぎます。

### 花壇の面積

0.9 m x 6.0 m x 2 区画 = 10.8 m<sup>2</sup>

### 施肥（全面散布）

堆肥（グリーン・アース） 10 kg (N >48 g, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> >60 g, K<sub>2</sub>O >40g 含有)

成分保証含有率（乾物中 全窒素 >1.2%、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> >1.5%、K<sub>2</sub>O >1.0%）

C/N < 25、EC <1.5 mS/cm、水分 <60%、pH 7.3

パールユーキ 2 kg (N 120 g, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 60 g, K<sub>2</sub>O 20g 含有)

### 栽培作物

ソバ 品種：北早生そば 10 cm 間隔に 3-4 粒ずつ播種（6月19日）

ヘアリーベッチ 品種：雪印種苗まめ助（ナモイ）条播（6月20日）

### 播種方法

作条：各区画に 18 cm 間隔で 4 本ずつ

ソバとヘアリーベッチを交互に 2 本ずつ播種した。

ソバ（南から 1 本目と 3 本目）、ヘアリーベッチ（南から 2 本目と 4 本目）